競技者演習Ⅱ

科目ナンバリング HSS-304
選択 2単位

福田 敏克

1. 授業の概要(ねらい)

大学スポーツの意義・価値を理解する。意義・価値を理解した上で、競技者としてどのように活動し、何が必要なのかを学び、自己の競技力向上につなげる。

また、いち競技者に留まらないで、チーム内のリーダーとしてチーム力の向上ができる人物になれるように、リーダーの必要性・リーダーシップのあり方・チーム運営・マネジメント等を理解し資質を高める。

2. 授業の到達目標

大学スポーツの意義について理解する。

競技者に必要な考え方、心理的スキルを理解し、競技活動、チーム運営に反映させる考え方を身につける。

3. 成績評価の方法および基準

出席、授業態度はもちろんの事、授業内容のレポート提出、授業内での学生によるプレゼンテーションを実施して理解度を確認し評価する。

授業への取組み姿勢20%、レポート40%、プレゼンテーション40%。

4. 教科書・参考文献

教科書

別途指示。

5. 準備学修の内容

授業の復習を兼ねたレポート作成。

次回の授業を予習し、専門用語の意味などを理解すること。

6. その他履修上の注意事項

学生自身に考えること、考え続けることを求めます。

根気強く、やる気のある学生の受講を期待します。

授業内容のフィードバックや授業テーマを基にしたディスカッション、競技活動への効果のプレゼンテーションを毎回しっかりと行います。

7. 授業内容

- 【第1回】 ガイダンス、授業内容・進め方の説明、注意事項の説明
※オンライン実施
- 【第2回】 前期の復習
- 【第3回】 できること、やるべきこと、やりたいこと(Can,Should,Will)
- 【第4回】 仲間作り、助け合い・関わり合い・高め合い
- 【第5回】 リーダシップ、信頼
- 【第6回】 上級生と下級生、ベテランと新人
- 【第7回】 マネージメント、オーナーシップ
- 【第8回】 組織内の3層(2・6・2)、アプローチ(TeachingとCoaching)
- 【第9回】 PDCAサイクル(Plan, Do, Check, Action)
- 【第10回】 OODAループ(Observe, Orient, Decide, Action)
- 【第11回】 SBAR(Situation, Backborn, Assessment, Recommend)
- 【第12回】 考え方を身につける
- 【第13回】 ダブルゴール
- 【第14回】 文化の継承と創造(Continue, Stop, Start)
- 【第15回】 統括
※オンライン実施